

都市再生整備計画(第3回変更)

な て え き ま え
名手駅前地区

和歌山県 紀の川市

平成23年3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1: 交通利便性の優れたまちづくり</p> <p>・I.Cと国道24号との結節機能を果たすため、南北方向の道路として、主要幹線道路の役割を果たす(都)栄町線、幹線道路の役割を果たす(都)名手市場麻生津線の整備を行う。これにより、整備済みの東西方向の(都)名手駅前穴伏線を活用して、I.Cと国道24号とのゆを結ぶ道路網が地区内で確立する。</p> <p>・また、幹線系の道路ではなく住民生活の中核をなす道路として、通過交通を防ぐために屈曲した現道線形を活用しつつ、(仮称)栄大黒線の整備を行う。</p>	<p>道路(基幹事業 / (都)名手市場麻生津線)、道路(基幹事業 / (仮称)栄大黒線)、街路事業(関連事業 / (都)栄町線、県)</p>
<p>整備方針2: 防災性に優れた安全なまちづくり</p> <p>・「那賀町地域防災計画」において安全な都市環境の実現のために整備の位置付けがある(都)栄町線、(都)名手市場麻生津線の整備を行う。</p> <p>・市の顔の1つとしての役割を担う地区であることから、上記の都市計画道路とともに、東西方向の避難路として(仮称)栄大黒線の整備を行う。このことにより、地区の消防活動困難区域を全面的に解消する。</p> <p>・住宅密集地としてはオープンスペースの確保が不十分である現状を打開するため、(都)名手市場麻生津線と(仮称)栄大黒線の交差点付近に避難地として活用できるように公園を整備する。また、災害に強いまちづくりのため、生活水の確保を目的とした耐震性貯水槽を公園内に設置する。</p>	<p>道路(基幹事業 / (都)名手市場麻生津線)、道路(基幹事業 / (仮称)栄大黒線)、公園(基幹事業 / 21箇所)、地域生活基盤施設(基幹事業 / 地域防災施設)</p>
<p>整備方針3: 住環境に優れた魅力あるまちづくり</p> <p>・市の顔の1つとしての役割を担う地区であり、市の定住促進施策のモデルとして、魅力に満ち、愛着が持てる住環境整備を図るため、以下の事業を行う。</p> <p>・まちの憩い空間の核として、(都)名手市場麻生津線と(仮称)栄大黒線の交差点付近に公園整備を行う。</p> <p>・まちのグレードアップを図るために、道路整備に併せて、照明施設、平板ブロック舗装やカラー舗装の整備を行う。</p> <p>・事業後のまちの姿を示す散策MAPを住民参加で作成・配布し、住民の意識向上及び地域への情報発信を図る。高齢者の散歩道、憩いの場として紹介するなど、地区住民の高齢化にも配慮する。</p>	<p>道路(基幹事業 / (都)名手市場麻生津線)、公園(基幹事業 / 21箇所)、高質空間形成施設(基幹事業、平板ブロック舗装 / (都)名手市場麻生津線)、高質空間形成施設(基幹事業、カラー舗装 / (仮称)栄大黒線)、高質空間形成施設(基幹事業、照明施設)、住民参加による散策MAPづくり(提案事業 / まちづくり活動推進事業)</p>
<p>その他</p> <p>交付期間中の計画の管理について</p> <p>交付期間中において各種の事業を円滑に進め、目標に向けた確実な効果をあげるために、市とまちづくり検討委員会が協働して、毎年、事業成果について評価や事業の進め方の改善などを行うためのモニタリングを実施する。その結果については、随時、住民に情報公開する。</p>	

都市再生整備計画の区域

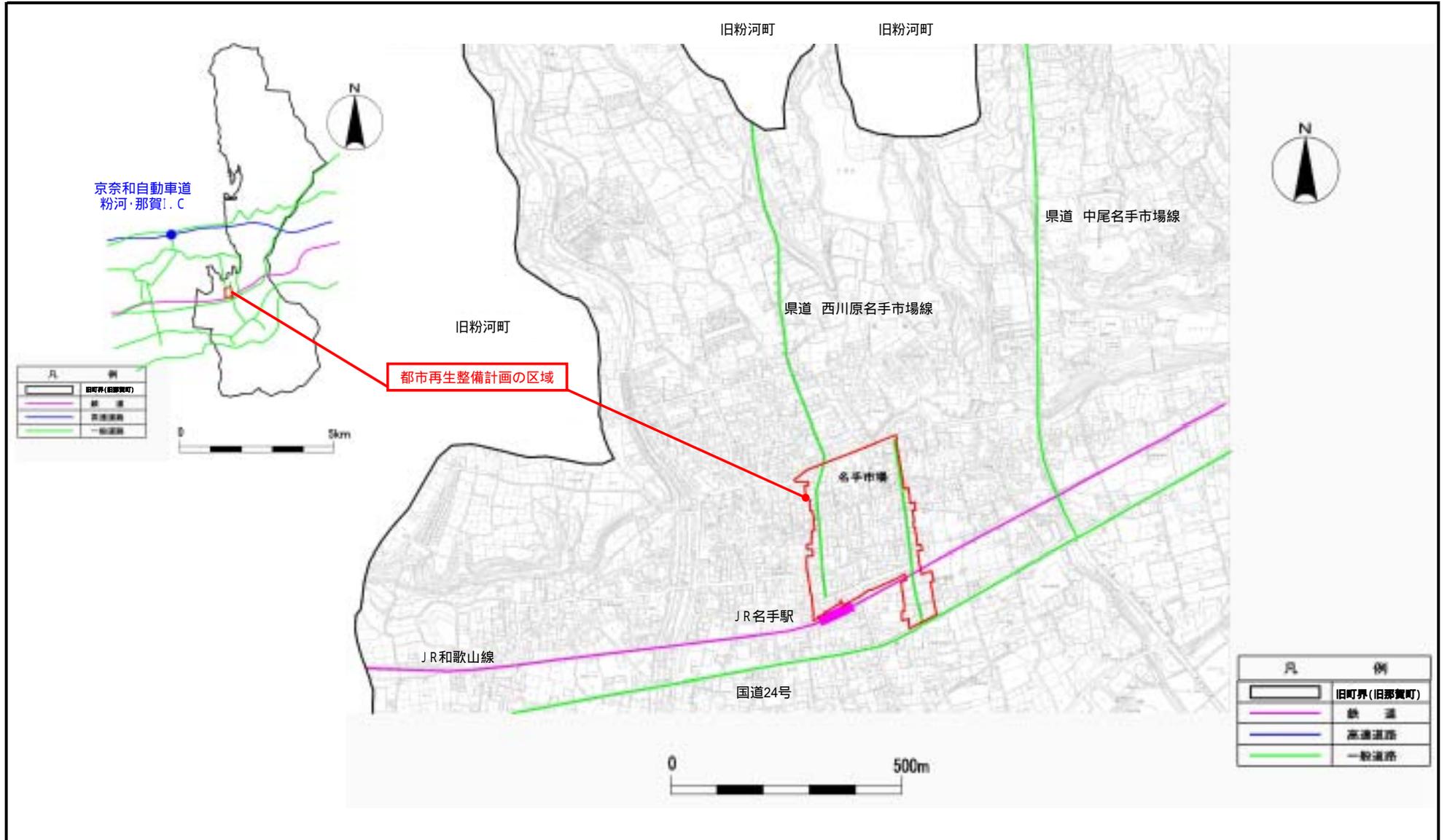
名手駅前地区(和歌山県紀の川市)

面積

7.9 ha

区域

紀の川市名手市場の一部



名手駅前地区(和歌山県紀の川市) 整備方針概要図

目標	利便性と安全性を備えた魅力ある市街地づくり	代表的な指標	(都)名手市場麻生津線の自動車交通量(日/12H)	2,149	(16年度)	2,579	(22年度)
			消防活動円滑区域の割合(%)	81	(16年度)	100	(22年度)
			住みやすさの満足度	-	2.46	(16年度)	2.76

